

「丹波市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」 ∞令和4年度進捗状況報告（令和3年度実績）∞

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条第15項に基づき、平成30年度に策定した「丹波市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」～第三期実行計画～の進捗状況を報告、公表します。この報告書は、実行計画に定める数値目標の達成状況等を把握し、温室効果ガスの排出抑制を行うことで、地球温暖化対策に取り組んでいくことを目的に作成しています。

【計画で対象となる温室効果ガス】4種類

- CO₂（二酸化炭素）
- CH₄（メタン）
- N₂O（一酸化二窒素）
- HFC（ハイドロフルオロカーボン類）

☆計画の概要☆

◎計画の基準年：平成25年度

◎実行計画期間：令和元年度～令和5年度（5年間）

◎調査対象施設：庁舎を含めた公共施設

◎基準年の温室効果ガス総排出量 **20,881t-CO₂**

☆行政活動起源 **17,201t-CO₂**

☆廃プラスチック起源 **3,680t-CO₂**

★削減目標★ 基準排出量（20,881t-CO₂）に対し
21.2%（4,434t-CO₂）削減

☆令和3年度温室効果ガス排出状況☆

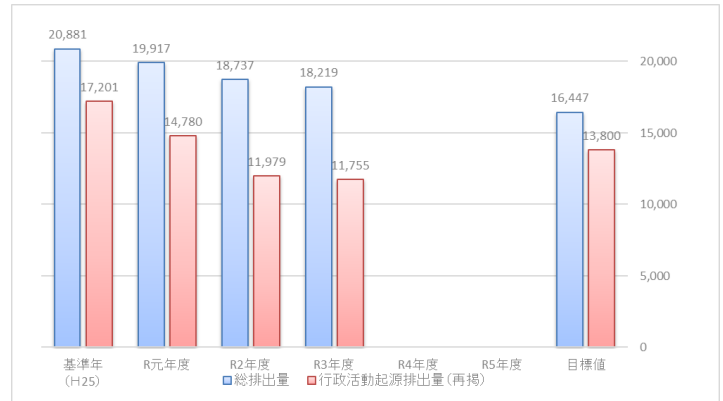
◎温室効果ガス総排出量 **18,219t-CO₂**

☆行政活動起源 **11,755t-CO₂**

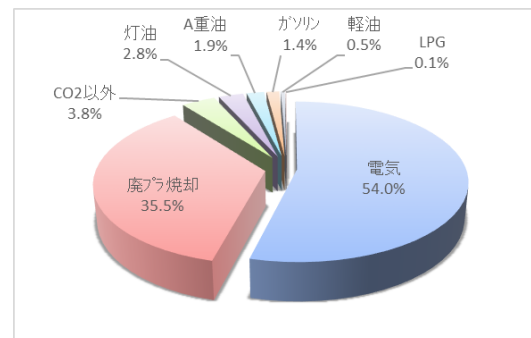
☆廃プラスチック起源 **6,464t-CO₂**

●温室効果ガス排出量の推移

（単位：t-CO₂）



●温室効果ガス排出源構成（R3実績）



令和3年度温室効果ガス総排出量

排出量は18,219t-CO₂となり、基準年の排出量（20,881t-CO₂）に対して2,662t-CO₂（12.7%）減少しました。プラスチックごみの焼却による温室効果ガスの排出量が依然として大きい状況です。

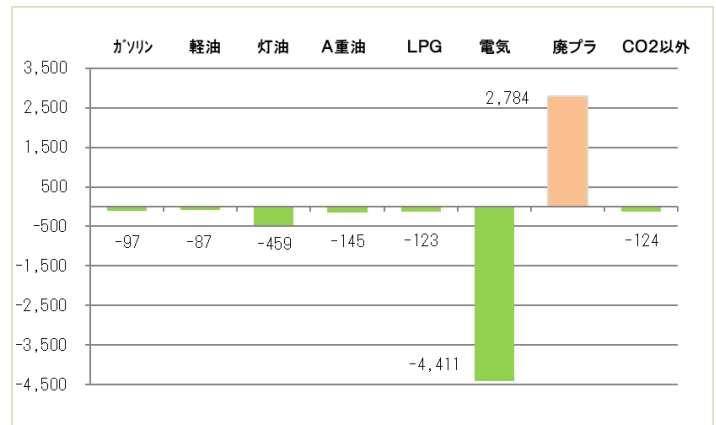
◎行政活動起源による排出量は目標を達成

行政活動起源の温室効果ガスの排出量は、目標値（13,800 t-CO₂）よりも2,045 t-CO₂ 少なくなりました。

※排出量の算出方法は基準年に準じる。

●排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況（単位：t-CO₂）

項 目		H25年度 (基準排出量)	令和3年度	
		排出量	排出量	基準年対比
燃 料	ガ ソ リ ン	356	259	-27.2%
	軽 油	171	84	-50.9%
	灯 油	963	504	-47.7%
	A 重 油	500	355	-29.0%
	L P G	152	29	-80.9%
電 気		14,246	9,835	-31.0%
廃プラスチック焼却		3,680	6,464	75.7%
CO2以外の温室効果ガス		813	689	-15.3%
温室効果ガス全体		20,881	18,219	-12.7%



温室効果ガス削減に向けての今後の課題

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、新しい生活様式の取り組みの実践により、感染症予防に取り組みながら、徐々に日常生活が正常化し、活動量は平年の水準に戻りつつあります。

クールビズ、ウォームビズの実施や空調設備の温度設定（冷房 28℃、暖房 20℃）の徹底により、行政活動起源による排出量は、目標を達成することができました。

一方、プラスチックごみを燃やすことによって発生する温室効果ガスの排出量は、昨年より減少しましたが、依然、基準年より高い数値で推移しています。現在丹波市では、プラスチック製容器包装とペットボトルのみを燃やさないごみとして分別収集していますが、それ以外のプラスチックごみについても、燃やす以外の方法で処分する仕組みづくりが必要です。